

2025年1月31日
関西電力株式会社

2024年度第3四半期 会社説明会
(2024年度第3四半期決算)

<主なQ A>

Q. 今回公表した2024年度業績予想の経常利益4,500億円程度を実力利益とみているのか。

A. LNG価格、石炭価格が現在の水準で安定的に推移するのであれば、今年度の4,500億円程度が視野に入ってくると思うが、持続的な水準なのかというところは、来年度、再来年度もう少し見定めた上で、判断したい。

Q. 足元は新電力の競争が進展していると認識しており、販売量を確保するために値下げすることもあり得る状況なのか。関西電力の料金水準を見たときに標準メニューを値上げする選択肢があるように外からは見えるが、選択肢としてありえるのか。

A. 相対、自由料金の世界においては、一律に値上げ、値下げを明確に申し上げられる状況ではなくなってきている。少しでも収益を確保できるよう努めてまいりたい。

Q. FCFについて、△1,100億円から＋1,500億円に修正となったが、その増減の内訳は。

A. 主な要因は、税引き前の純利益の増加。営業CFで1,000億円程度効いている。投資CFは、イギリスの配電会社ENWの株式売却、関電L&Aの事業売却で、投資CFが戻ってきたもの。

以 上